

北海道自然史研究会 2012 年度総会議案

2013 年 2 月 3 日

事務局／さっぽろ自然調査館・渡辺修

(1) 会計報告・予算計画

2012年度予算計画

収入		支出	
前年からの繰越	88,493	ウェブ管理費	5,000
寄付	20,000	会場費等	20,000
大会参加費	50,000	旅費交通費	50,000
助成金	860,000	消耗品費	5,000
書籍販売益	300,000	印刷編集費	960,000
		データ・ウェブ整備	200,000
		予備費	78,493
合計	1,318,493	合計	1,318,493

※前田一步園からの「大雪山昆虫誌」への助成金を得て組んでいる。

2012年度会計報告(見込み)

収入		支出	
前年からの繰越	88,493	旅費交通費	0
寄付金	0	原稿料	33,630
道新原稿料	300,000	会場費等	0
大会参加費	32,700	印刷編集費	960,000
助成金	860,000	ウェブ管理費	5,000
口座利子	28	消耗品費	27,800
		翌年への繰越	254,763
合計	1,281,193	合計	1,281,193

※2回の大会は会場費はかかっていない。役員会も単独では開催していないため、旅費の支払いはない。助成金で出版する書籍の販売とサイト整備費の支払いは、次年度に繰り入れる。

上記の通り報告いたします。 事務局 渡辺 修 (印)
 上記の通り相違ありません。 会計監査 山崎真実 (印)
 内藤華子 (印)

今年度分はまだ全て確定していないが(赤字が未確定費目)、見込みとして示した。出版に関する助成金、道新夕刊の連載原稿料などの収入が確定している。大会は昨年 5 月と 2 月の 2 回分の実施計画となっている。

来年度(2013 年度)は、助成金は予定していないが、月 2 回の道新連載の継続を見込んでいる。

2013年度予算計画

収入		支出	
前年からの繰越	254,763	旅費交通費	40,000
寄付等	10,000	原稿料支払い	43,260
道新原稿料	240,000	会場費	5,000
大会参加費	20,000	データ・ウェブ整備	300,000
書籍販売益	300,000	ウェブ管理費	5,000
		消耗品費	55,000
		予備費	376,503
合計	824,763	合計	824,763

※書籍販売は3000円×100部、道新原稿料は24本の見込み。消耗品費は送料含む。

(2) 来年度研究大会について

札幌での年度末開催とする基本方式の予定となっている。 2014 年 2 月 (3 月)

(3) 役員の変更について

現役員(11名)に加えて、三笠市の栗原憲一学芸員の追加について提案する。

2012年度役員(任期 2012/4/1~2014/3/31)

役職	担当	氏名	所属等
会長		古沢 仁	札幌市博物館活動センター
副会長	大会	大原昌宏	北海道大学総合博物館
理事		小宮山英重	野生鮭研究所
理事		齋藤和範	旭川大学地域研究所
理事	大会	持田 誠	帯広百年記念館
理事	大会	志賀健司	いしかり砂丘の風資料館
理事		川辺百樹	ひがし大雪博物館
理事		堀 繁久	北海道開拓記念館
理事		水島未記	北海道開拓記念館
監事	監査	山崎真実	札幌市博物館活動センター
監事	監査	内藤華子	石狩海浜植物保護センター
顧問		保田信紀	大雪山自然史研究所

事務局長	渡辺 修	さっぽろ自然調査館
事務局次長	丹羽真一	さっぽろ自然調査館
事務局	渡辺展之	さっぽろ自然調査館

研究報告誌編集委員会

齋藤、持田、大原、川辺、内田、宇仁

ウェブサイト製作ワーキンググループ

持田、浦

自然史紹介作品製作ワーキンググループ

大原、山崎、古沢

(4)助成金を受けた「大雪山昆虫誌」出版の進捗について

現在データの抜き出しと整理を実施中。約 68,000 件のデータがあり、これについてもサイトで公開できるようにする方針。書籍は年度内に発行、来年度から一部販売を計画。

(5)研究報告アーカイブ、サイト整備について

- ・ 道の事業と連携して進んだ研究報告 PDF 約 5,000 件をサイトに掲載予定。
- ・ 交渉が滞っている施設、未交渉の施設については引き続き交渉を進める。
- ・ サイトでは、文献のアップと検索・抽出をやりやすくするようデータベース設置を準備中。

雑誌名	区分	出版年月	発行冊数	文献数	交渉	担当	データ作業	データ	掲載	掲載制限
上士幌町ひがし大雪博物館研究報告	博物	1975～1980～現在	33	235	●	川辺	済	235	27	
えりも研究	博物	2004～現在	8	31	●	中岡	済	31	28	
知床博物館研究報告	博物	1979～現在	31	255	●	渡辺	提供(道)	255	85	著者許諾
帯広百年記念館紀要	博物	1983～現在	29	112	●	持田	済	112	38	
釧路市立博物館紀要	博物	1972～1983～現在	32	168	●	川辺	済/提供	168	79	
石狩浜海浜植物保護センター調査研究報告	博物	2006～現在	8	8	△	内藤	提供	8	8	
北見郷土博物館紀要	博物	1971～1985	10	6	●	川辺	済	6	0	
雲峡ビジターセンター研究報告	博物	1981～2001～2007	27	99	●	渡辺	済	99	0	
苫多尼訶 北海道植物友の会	植物	1986～現在	27	345	●	渡辺	DTP	282	73	3年除外
北方山草	植物	1979～現在	26	44	●	渡辺	提供	44	44	追加許諾
北海道の自然	全般	1982～現在	47	343	●	渡辺	(道)	343		3年除外
北海道自然保護協会会誌NC	全般		47	636	●	渡辺	(道)	636		3年除外
野幌研究	地域	2002～2003	2	18	●	持田	済	18		
SYLVICOLAシルビコーラ	昆虫	1983～2012	34	380	●	渡辺	(道)	380		3年除外
野鳥だより 北海道野鳥愛護会	野鳥		166	1257	●	渡辺	提供	166		3年除外
調査館通信	全般	1997～現在	33	189	●	渡辺	DTP	44	44	
生物研究集録(旭川西高生物部)	教育	1950～1985	27	272	●	齊藤	(道)	268		
利尻研究	博物	1982～1993～現在	28	285	△	渡辺	(館で)			
標茶町郷土館報告	博物	1985～現在	24	180	○	持田	(道)	180		
小樽市総合博物館紀要	博物	1962～2008～現在	24	232	△	持田				
美幌博物館研究報告	博物	1991～現在	15	108	△	渡辺	(道)			
士別市立博物館報告	博物	1983～現在	26		○	持田				
市立函館博物館研究紀要	博物	1990～現在	21	50	○	持田				
苫小牧市博物館館報	博物	1991～2002～現在	12	58	△	持田				
むかわ町立穂別博物館研究報告	博物	1984～現在	24		○	持田				
北海道開拓記念館研究紀要(研究年報)	博物	1972～1995～現在	37	152	△	堀	(館で)			
北海道大学総合博物館研究報告	博物	2003～現在	4	14	△	大原	(提供)			
阿寒国際ソルセンター紀要	博物	2000～現在	8		▲	川辺				
カッコウほか 日本野鳥の会支部報	野鳥	1979～現在	2128	2128	●	渡辺	(道)	101		
Jezoensisエゾエンシス	昆虫	1974～現在	36	1152			(道)	1152		
エゾシロ 函館昆虫同好会	昆虫	1953～現在	52	387			(道)	387		
北海道生物教育会誌	教育		25	103	▲	渡辺	(道)			

No	発行年	号数	著者	論文タイトル	分野	本文	DL数
157	2000	第22号	川辺百樹・中岡利泰	北海道におけるエゾキウサギの南限の生息地		DL	155
158	2000	第22号	ひがし大雪博物館友の会エゾキウサギ調査グループ	北海道中央部、佐幌岳とその周辺におけるエゾキウサギの生息地		DL	279
159	2000	第22号	ひがし大雪博物館友の会水鳥調査グループ	1993～1999年の十勝地方北部の湖沼における水鳥のカウント		DL	21
161	2000	第22号	松田まゆみ	アメリロハエトリ属の日本新記録種		DL	65
162	2000	第22号	松田まゆみ	これまで <i>Walckenaeria antica</i> (Wider, 1834) に誤同定されていた <i>W. golovachi</i> Eskov et Marusik, 1994 の記載		DL	101
163	2000	第22号	松田まゆみ	北海道の毛類目録補遺		DL	72
164	2000	第22号	丹羽真一・渡辺修	十勝三股地区(十勝町)の植物相および生態的特徴と開花季節との関係 - 地域植物相の繁殖特性分析の試みと自然解説への応用		DL	69
165	2000	第22号	丹羽真一・渡辺修・川辺百樹・辻本淳子	上士幌町維管束植物目録補遺		DL	166
166	2000	第22号	丹羽真一・渡辺修・渡辺展之	ひがし大雪地帯における野生植物の盗掘事例		DL	300

新しいサイトのイメージ。ラピュール社に依頼している。論文だけでなく、施設や人のデータベースも設置する予定。

(6)北海道新聞夕刊連載「みんなでサイエンス」について

北海道新聞札幌圏部の木曜日夕刊にて、自然史研究会として連載を持っており、すでに26回掲載されている。現在は、「月2回+科学史(北大古田さん)+天文学(青少年科学館広鱈さん)」「月2回+医学(北大木佐さん)+宇宙工学(日本宇宙フォーラム寺門さん)」というローテーションになっている。

執筆者はMLなどで募集、事務局で候補を交通整理し、原稿を受け取って、掲載3週間前に道新担当社に入稿している。詳細な調整は担当者として著者で。原稿料は1万円で、一部の方には研究会に寄付していただいているが、写真・文章のプロや若手等には7千円ということでお支払いして来ている。

記事は札幌・石狩管内(フルカラー)の他、空知・胆振・日高でモノクロ掲載されているとのこと。

掲載	タイトル	担当
2012年		
4月5日	01.エゾサンショウウオ	堀
4月19日	02.フラワーソン	渡辺修
5月10日	03.マルハナバチ	丹羽
5月17日	04.ヘビの舌	徳田
6月7日	05.春のユキムシ	佐野
6月14日	06.クマのフン	大坂
6月21日	07.蟹気楼・高島おばけ	大鐘
7月5日	08.太古の生物・アンモナイト	栗原
7月12日	09.水鳥の寄生虫	浅川
8月2日	10.スイレン～妖精の仲間達	山崎
8月9日	11.アメリカザリガニ	前田
8月16日	12.豊平川のサケ	有賀
8月30日	13.ホベツクビナガリュウ	櫻井
9月6日	14.森の野ネズミ大実験	渡辺修
9月27日	15.どんぐりの成長を追う	渡辺展
10月4日	16.海からの青い手紙	志賀
10月11日	17.北国の海辺を飾るハマナス	内藤
10月25日	18.化石～奇跡の宝物～	古沢
11月1日	19.北の養蜂	佐々木
11月22日	20.つる植物	丹羽2
11月29日	21.カエルの体色	徳田2
12月6日	22.ヤナギという漢字	平井
12月20日	23.多様なカメムシの世界	山本
12月27日	24.クジラ漂着	水島
2013年		
1月24日	25.オシロコマ・消えた斑点の秘密	長谷川
1月31日	26.北海道のコウモリ	中島
2月7日	27.浦幌町のアンモナイト	栗原2

(7)S-net に関する協力要請について

5月の総会で国立科学博物館・福田氏からあった提案のその後について。

(8)その他の事業について

- ・会員は昨年5月以降13名追加で、ML会員が167名。メールで捕捉できない会員は除外中。
- ・その他活動も実施して行きたい。 研究報告誌編集委員会/自然史紹介作品製作ワーキング

<事務局連絡先>
さっぽろ自然調査館 wata-os@cho.co.jp
メーリングリスト natural-h@cho.co.jp
〒004-0051 札幌市厚別区厚別中央1条7丁目1-45 山岸ビル3階
Tel 011-892-5306 Fax 011-892-5318